

道徳通信②

平成 28 年 7 月 14 日

道徳教育推進委員会
(安芸太田町立筒賀小学校・安芸太田町立筒賀中学校)
文責：道徳教育推進リーダー教師 福田祐子

筒賀中学校区では道徳の授業を通して、こんな児童生徒を育てたいと考えています！

- 集団・社会の一員として自覚と責任をもち、社会に貢献しようとする意欲をもった児童生徒
- 自分を大切に、他人を大切にして、思いやりをもってともに生きる児童生徒

小・中学校は、家庭と手を携えて児童生徒の心を育てていきたいと思えます。ご家庭でもお子様が家族の一員として協力しようとしたり、家族の気持ちを考えて行動したりする場面があれば、「ありがとう！」「がんばっているね」「うれしいよ」等の声をかけていただければと思います。

今後ともご協力よろしくお願ひします。

筒賀小・中学校 1 学期の道徳の授業。

～子供たちは何を学んだのでしょうか？～

各学年の授業を 1 時間ずつ紹介します。1 学期、道徳の時間で、児童生徒がどんなことを考え、思ったのか、ご家庭でも話をしてみてください。



小学校編

小学1年生

■ 7 月 5 日「はしの うえの おおかみ」(わたしたちの道徳 小学校 1・2 年 p. 70~73)

身近な人たちに温かい心で接し、“親切にしようとする態度” 親切にしようとする態度を育てる授業です。

学習の振り返りでは、「わたしは親切にしてもらってうれしい気持ちになるから、みんなにやさしくしたいです。」等と書いた児童がいました。親切っていいなあ…と感じている児童の様子がうかがえた授業でした。1 年生の保護者の皆様には、いつもワークシートに温かいコメントを書いていただきありがとうございます。「はしのうえのおおかみ」では、「親切にされたことを思い出して、優しい気持ちでみんなにも親切にできたらうれしいね。」というコメントをいただきました。今後ともご協力よろしくお願ひします。

くまさんが やさしくしてくれたので うれしかったです。



役割演技の様子

小学2年生

■ 6月29日「およげない りすさん」(わたしたちの道徳 小学校1・2年 p.78~81)

友だちと互いに“仲良く助け合おうとする心”を育てる授業です。

泳げないからという理由で池の中の島に一緒に行けなかったりすさんは「さみしかったらうね」という考えを、また、「りすさんを残して行ったあひるさんたちは後悔したたらうね。」という考えをもつ児童もいました。授業の振り返りでは、児童たちは、みんなで助け合い、遊んだほうがよいという意見が多く出され、友だちと仲良くする気持ちが育ったのではないかと思います。

あひるさんはどんなことをかんがえていたのかなあ…



児童の対話の様子

小学3・4年生

■ 6月27日「同じ仲間だから」(わたしたちの道徳 小学校3・4年 p.76~79)

友だちの身になって考え、互いに理解し合い、“友だちを大切にしようとする態度”を育てる授業です。

はじめは、運動が苦手な子が運動会の種目「台風の目」で自分のチームにいたら困るという意見を出した児童もいましたが…。

授業の終わりには、「同じチームなのだから、仲良く協力してがんばらなくては…」という考えに変わってきました。教材に登場する3人の気持ちをしっかり考えて、意見が活発に飛び交った授業でした。

光夫君もがんばっているから、ぼくも「台風の目」がんばるぞ!



役割演技の様子

小学5・6年生

■ 6月9日「黄熱病とのたたかい」(私たちの道徳 小学校5・6年 p.92~95)

私たちの生活が互いの助け合いや協力で成り立っていることを理解し、“感謝の心”を育てる授業です。

野口英世が研究に打ち込めたのは、彼を支える存在があったこと、英世はそのことに感謝していたことを児童たちは教材からつかんでいました。つかんだことを基にして、今度は児童自身を支えてくれている人々の思いについてグループで話し合いました。

最後には、家族や友だちに感謝の気持ちを表す児童も出てきて、温かい雰囲気の中で、授業を進めることができました。

英世はお母さんや先生たち、友だちに感謝の気持ちをもっていったね。



グループ学習の様子

中学校編

中学1年生

■ 6月24日 「礼儀は何のため？」(関連 私たちの道徳 p.48~53)

礼儀の意義を理解し，“時と場に応じた適切な言動をとる態度”を育てる授業です。「礼儀は相手に感謝の気持ちを伝えるためにある。」「目上の人に敬意を表すためにある。」といった意見がある中、「でも、正直ちょっとめんどくさいよね。」という本音も出てきました。話し合いを進めていき、最後に個々で考えた時には、「その場の雰囲気に応じた敬語を使いたい。」等の意見が出ました。また、7月7日に行ったマナー講座の後に、「礼儀は、自分と相手を気持ちよくつなぐもの。」等、人と人のつながりを円滑にするものであると記述した生徒もいました。

先輩には敬意を示さないといけないから、敬語を使うべきだと思うけど、敬語を使ったら話しづらくなるなあ…



語り合いの様子



礼儀作法は
堅苦しいものではなく
単なる形式でもない、
社会生活の潤滑油です。
松下幸之助

私たちの道徳 P52

中学2年生

■ 6月8日 「人間であることの美しさ」(関連 私たちの道徳 p.16~17)

より高い目標をめざし，“希望と勇気をもってやり抜く強い意志”をもたせることをねらった授業です。

1984年のロサンゼルスオリンピック 女子マラソンで倒れそうになりながらも自分のために走りきったアンデルセン選手を取り上げ、当時の実際の映像を見て、資料を読み「人間だけが表現できる美しさとはなんだろう」ということについて考えました。

生徒たちは話し合いの中で、「美しさ」とは「最後まで粘り強くやり遂げようとするかっこよさかなあ…」という意見を出していました。帰宅してからもアンデルセン選手の走る姿を思い出し、「輝」ノートに感想を書いた生徒もいました。

自分は目標を目指して粘り強くがんばっているかなあ…



グループ学習の様子



アンデルセン選手のゴールシーン

次の日の「輝」ノートより

今日は道徳で、ガブリエラ・アンデルセン選手のすばらしい走りの映像を見ました。アンデルセン選手は苦しい中、最後まであきらめることなく走っていました。とても感動しました。

■ 7月5日 「継続は力なり」

たんぽぽ学級では、「道徳の時間」はありませんが生徒の道徳性の成長に向けて、自分の言動を「考える」時間を設けています。



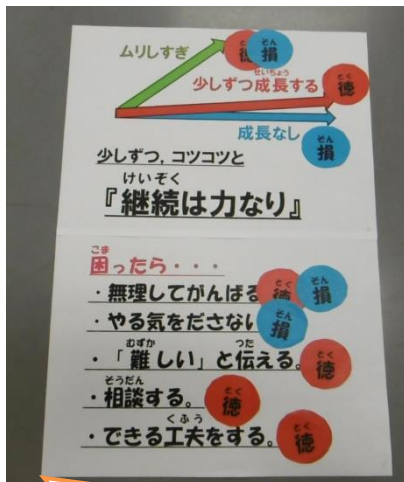
(ことわざ)

おや
ライオンの親は、
こども たに おとす
子どもを谷に落とす

なぜ、
このようなことを
するのでしょうか。

おや たに
ライオンの親は、子どもを谷に
おとす
落とす

理由は
しれん あたえて
きびしい試練を与えて、力をためし
りっぱ そだてる
立派に育てる



どんな行動をすればよりよい生き方が
できるのか、「損」「徳」シールを貼り
ながら、2人の生徒が考えた足跡です。

せいちょう
成長する



少しずつ、コツコツと
けいぞく
『継続は力なり』



苦手なことにもチャレンジして、少しずつがんばっていくことがよいということが理解できました。しっかりと考えたことが、今後の行動に生かされるとよいですね。

夏休みに「わたしたちの道徳」を持ち帰ります

児童生徒たちは、1学期の間、頑張って学習に取り組みました。ご家庭でも学んだことについて、「わたしたちの道徳」を見ながら話をしてくださると子供たちの学びがより深まると思います。

また、「わたしたちの道徳」には大人でも考えさせられる内容が取り扱われています。興味を持たれた部分だけでも読んでいただいて、感想などをお子様にご伝えていただければ、児童生徒も道徳の時間の学習にさら意欲をもつことと思います。ぜひ、よろしくお願ひします。